

(許可申請書記載例)

様式第二 [第7条・第63条]

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書			
宅地造成及び特定盛土等規制法 { 第12条第1項} 〔 第30条第1項〕 の規定により、 許可を申請します。		※手数料欄	該当区分に○印若しくは該当しない区分は見え消し
		申請者 氏名 ○○○○	申請者が法人である場合は、法人の名称及び代表者の氏名を記入
1 工事主住所 氏名 (法人役員住所 氏名) 高知市長 様		法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入。(役員が多い場合は別紙でのとりまとめも可)	
2 設計者住所 氏名 申請者 氏名 ○○○○		資格を有する者の設計によらなければならぬ工事を含むときは氏名の横に○印	
3 工事施行者住所 氏名 申請者 氏名 ○○○○		代表地番の緯度及び経度は世界測地系に従って少数第一位まで記載	
4 土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度) 高知県高知市○○ (緯度: ○○度○○分○○.○秒、 経度: ○○度○○分○○.○秒)		該当する盛土タイプに○ (1)平地盛土: 勾配1/10以下の平坦地において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土 (2)腹付け盛土: 勾配1/10を超える傾斜地盤上において行われる盛土で谷埋め盛土に該当しない盛土 (3)谷埋め盛土: 谷や沢を埋め立てて行う盛土 切土のみの場合は○印なし	
5 土地の面積 620.50 平方メートル			
6 工事着手前の土地利用状況 宅地			
7 工事完了後の土地利用 宅地			
8 盛土のタイプ 平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土			
9 土地の地形 溪流等への該当 有・無 2.10 メートル			
10 工事の概要 イ 盛土又は切土の高さ ロ 盛土又は切土をする土地の面積 510.50 平方メートル ハ 盛土又は切土の土量 盛土 410.10 立方メートル 切土 5.20 立方メートル ニ 擁壁 番号 構造 高さ 延長 1号擁壁 L型擁壁 1.20m 14.5m 2号擁壁 L型擁壁 2.30m 15.0m 3号擁壁 L型擁壁 3.20m 10.2m ホ 崖面崩壊防止施設 番号 種類 高さ 延長 メートル メートル ヘ 排水施設 番号 種類 内法寸法 延長 1 U型側溝 30.0cm 12.3m 2 集水溝 30.0cm 3箇所 3 雨水溝 20.0cm 2箇所 ト 崖面の保護の方法 コンクリート造の擁壁で保護 チ 崖面以外の地表面の保護の方法 崖とは反対方向に排水勾配を決定 リ 工事中の危害防止のための措置 ・工事区域内にバリケードを設置 ・工事車両について、ガードマンを配置し交通整理 ヌ その他の措置 なし ル 工事着手予定期月日 (許可日から) ヲ 工事完了予定期月日 (許可日から○○ヶ月) ワ 工程の概要 別紙工程表のとおり 11 その他必要な事項 ○○法○○条の許可取得済み		溪流等とは、山間部における河川の流水が継続して存する土地その他の宅地造成又は特定盛土等に伴い災害が生ずるおそれが特に大きいもので、渓床勾配10度以上の勾配を呈す一連の谷地形を中心全幅50mの範囲を指します	
※受付欄		※決裁欄	
年 月 日		※許可に当たって付した条件	
第 号		※許可番号欄	
係員氏名		年 月 日	
		第 号	
		係員氏名	

(許可申請書記載例)

[注意]

- 1 ※印のある欄は記入しないでください。
- 2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならぬ工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出してください。
- 6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 7 8欄は、該当する盛土タイプに○印を付してください（複数選択可）。
- 8 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。